

## おもちゃ魅力発見！！

おもちゃ選びって悩むけど…何を基準に選べばいいのかな？

月齢や子どもの興味にもよるけれど、その前に、おもちゃを与える意味を考えたことあるかな？

おもちゃを与える意味@@考えたことなかった……

今日は、おもちゃについてみんなで考えてみよう！

### おもちゃを与える意味！

#### 子どもの自立を助けます。

子どもが今一番したいことに応じたおもちゃが、タイムリーに与えられると(例えば、追視ができるようになるとモビールを吊す、はいはいができるようになると、引き車を与えて追いかせさせるなど)、子どもは夢中になっておもちゃで遊ぶので、その機能を伸ばし、結果的に発達をうながし自立を助けます。

#### 道具を使う練習になります。

コンピュータ社会の到来で、ともすると人が道具に使われてしまう時代です。小さな頃から道具に親しむことを覚えて、道具との上手な付き合い方を身に付けることはとても大切です。いきなり小さな子に、電気仕掛けや電子的なおもちゃを与えるのではなく、その子とその仕組みを理解できて、十分使いこなせる範囲のものを与えます。

#### 自分で考える子をつくります。

積木を積むという行為一つをとっても、積み方はいく通りもあります。遊びはその可能性の連続であり、そのうちのどれを選ぶか判断力を要します。より美しく、より完成度を高めるためには、意志の力も養われます。近代人として必要な場面場面で自分の考えを持てる子になります。

#### 社会性を育てます。

ごっこ遊びの道具を与えると、まるで大人になりきったように振る舞う子に、つい笑みがこぼれてしまいます。子ども達はそれらの遊びの中で、大人の社会のシミュレーションを作り、役割を分担し、子ども同士の人間関係を確認しあいます。

また、ゲームは勝つことの喜び、負けることの悔しさなど感情を育み、ひいてはルールを守る中に本当の自由な楽しさがあることを体験します。

#### 親は子育てが孤独でなくなります。

おもちゃで遊ぶ子どもを見ていると、子どものその時の状態が客観的にわかります。そのことは、子どもに振り回されるのではなく、子どもの遊びをリードしていくことにつながります。子どもに媚びないおもちゃをタイムリーに与え、遊びの環境を整えることは、親としても責任重大ですが、その分大人としての力量を発揮でき、うまくいけば満足感もひとしおです。

子どもの本とおもちゃ 百町森HPより抜粋

<http://www.hyakuchomori.co.jp/toy/pages/ataeruimi.html>

### ままごと



【ままごと】はママの真似をする。と思われがちですが、「まま」は幼児語で飯[めし]のこと指し、「ごと」は古い日本語で「コト」、つまり祭りなどの行事を指します。この事から、様々な行事に炊事役として少女が参加したのが、後になって次第に遊びへと変化したと考えられます。子供達はままごとを通して食卓での作法や言葉使いだけでなく、招客、交際、贈答などを遊びから自然に身に付けることができます。

### 積み木

積み木は想像力豊かに自由に積んで遊べる楽しいおもちゃです。空間の前後左右上下の関係を把握する力や立体的な感覚を養うのに適しています。子どもが重ねた積み木を崩すのは、形あるものの一瞬の変化を楽しんでいると言われています。

少し大きくなったら、大人が見本を作り、見本通りに積み木を積むという遊び方も出来ます。この遊びは注意力、根気強さが要求されます。



### 折り紙



正方形の紙1枚から楽しい植物や動物などの形を作りだしていく日本の伝統的な遊びである折り紙は、小さな子どもから大人まで楽しめるものです。折り紙を行う事によって手先が器用になるなどの体の面だけでなく、集中力や創造力を養うという心の面も育つなどたくさんの効果があるとされています。折り線をつける時に左手で行うと右脳が鍛えられます。

### 読み聞かせ

ひざにのせたり、寄り添ったりスキンシップをすることで自己肯定感が育ちます。お話を通して、子どもの想像力が発達したり、登場人物の気持ちがわかるなど情操教育にも役立ちます。大人も子どもも活字離れしてきた、この時代だからこそ勤めて幼い頃から絵本になじんでおく本好きにもなり良いでしょう。絵本のストーリーには、社会常識や知恵なども書かれている作品も多く人生の教訓を知らず知らず学ぶことにもなります。



### ヴェルメさんとのコラボ事業！ 10月より 赤ちゃん木育広場開催

【おしゃべりん場終了後15時～】

【毎月第3月曜日15時～は 木育広場～木のおもちゃで遊ぼうよ♪】

「赤ちゃん木育広場」は認定NPO法人日本グッド・トイ委員会より全国50の個人・団体に対し、良質な木のおもちゃいっぱい「赤ちゃん木育おもちゃセット」が貸与され、遊びの広場を開く事業です。すべて“Made in JAPAN”のグッド・トイ！のおもちゃを持って第3月曜日の15時に木育インストラクターが遊びに来てくれます。おしゃべりん場に参加してない方も一緒に遊べますので、皆さん遊びに来てくださいね。

木育インストラクターの小林さんより  
木のおもちゃは…

優しい手ざわり、温かな色合い、かじっても安心、ステキな音色、よい香り。子どもが一番心地よく感じるのは人の肌で、二番目の素材は木ではないかと言われています。肌ほどではないですが、ぬくもりや安心感を与え、その心地よさは人の五感と響き合います。木のおもちゃは子どもたちの豊かな発達を促してくれます。